

いわき市防災講座 番外編

地域の防災活動②

『夜間津波避難訓練』



いわき市は、11年前の東日本大震災、3年前の東日本台風と、大規模な自然災害に見舞われ、また、毎年のように震度5を観測するような大きな地震が発生しています。

いわき市では、近年、頻発化、激甚化する自然災害に備えて、地域住民のみなさんが、防災意識や防災知識の向上を図る「地域の防災活動」を積極的に支援しています。

いわき市公式YouTubeを活用した、「いわき市防災講座」では3回にわたって、令和4年度に、地域のみなさんが協力、連携して実施した、新たな防災の取り組みを紹介しますので、みなさんのまちで行う防災活動の参考としてください。

『夜間津波避難訓練』

東日本大震災による地震・津波災害を経験したいわき市民にとって、いつ発生するか分からない、「地震・津波災害」は、大きな脅威です。

また、近年いわき市では、令和3年2月13日及び令和4年3月16日の震度5強の地震や、令和4年1月16日の津波注意報の発表と深夜帯に避難行動が必要となるような自然災害が発生しています。

「津波はいつやってくるか分からない」

夜間の津波災害の発生に備えて、地域住民の避難行動、避難経路の確認、避難誘導のあり方などを検証するため、勿来町関田地区において「**夜間津波避難訓練**」を実施しました。

関田地区で実施した「夜間津波避難訓練」について

- 実施日時
令和4年9月10日（土） 19時00分～20時00分
- 実施主体
関田総合自主防災会（関田須賀区、関田2区の一部）
- 訓練想定
令和4年9月10日（土）19時00分福島県沖を震源とする震度6強の地震が発生し、いわき市沿岸部に「大津波警報」が発表。
- 避難場所
「伊勢神社」：津波災害時の一時避難場所
- 訓練参加期間
関田総合自主防災会、福島県いわき南警察署、消防団第3支団第3分団、勿来消防署、勿来支所、危機管理部災害対策課

訓練内容

訓練は、日ごろ想定している津波からの安全かつ円滑な避難行動を確認する目的として実施しました。

- 避難経路の確認
予め世帯ごとに決めている避難経路を、実際に夜間に徒歩で避難することで、夜間の避難に注意すべきことなどを確認。
- 避難行動要支援者への対応
地区内に居住する「避難行動要支援者」に対する避難支援として「自動車避難」を実施。
- 避難誘導
自主防災会に組織されている「避難誘導班」が中心となって、地区住民の避難誘導を行う。
- 非常持出品の確認
地域住民は、避難行動の際に必要な非常持出品の確認を行う。

訓練の実施状況

避難広報の様子



避難の様子



避難の様子



受付の様子



講評



まとめ

関田地区は、海に面した地区で、地区の多くが津波浸水想定区域に含まれています。

東日本大震災での被害は少なかったものの、今後、いつまた発生するか分からない津波災害は、非常に大きな脅威です。

今回は、関田地区における夜間津波避難訓練を紹介しましたが、重要なこととして、災害はいつ発生するか分からない、そのためには、自分たちの住む地域の災害リスクをよく理解し、想定される災害に対して訓練などを行い、十分な「そなえ」をすることです。

市内の自主防災会や自治会のみなさんも、地域の災害リスクに合わせたより実践的な訓練を行ってみませんか？

きっと、より防災に対して意識が高まり、地域の防災活動が活性化するに違いありません。

